

九州大学ソーシャルアートラボによる、九州北部豪雨災害復興支援
「黒川復興ガーデンとバイオアート——英彦山修験道と禅に習う——」プレ企画
ひこさん しゅげんどう

復興支援のための

視察ツアー——参加者募集

「現場」に立ち、感じることから始める

2017年7月5日、九州北部は甚大な豪雨災害に見舞われました。

「昨日と繋がらない今日」を生きる被災地の方々や環境に寄り添いながら、共に創造するアートの力で、私たちは前を向くことができるでしょうか。

そのためにまず「現場」に立ち、感じることから始めたいと思います。

10月に実施する実践講座（裏面を参照）に向けて、復興ガーデン作りのための感覚を育てることを目的とする視察ツアーです。

2018年7月1日(日)

集合：④8:30 西鉄筑紫駅西口、⑥9:10 道の駅 三連水車の里あさくら
解散：16:50 道の駅 三連水車の里あさくら、17:30 西鉄筑紫駅西口(予定)

訪問場所：旧朝倉市立松末小学校／杉岡製材所／朝倉市立本木小学校／共星の里 黒川INN美術館／災害流木集積所
道の駅 三連水車の里あさくら 等

参加費：無料（ただし昼食代および集合場所までの交通費は各自実費負担） 定員：15名
コーディネーター：知足美加子（九州大学大学院芸術工学研究院准教授）

主催：九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ
共催：共星の里、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団
助成：平成30年度文化庁 大学における文化芸術推進事業
後援：日本アートマネジメント学会九州部会



共星の里 黒川INN美術館

廃校になった小学校の校舎を再利用したアート施設。美術家の柳和暢が中心となり運営を行う。本視察はこの野外スペースに押し寄せた岩石や流木を活かして、アート空間を創造するプロジェクトに繋がるものである。



松末は最も苛烈な豪雨災害に見舞われた地域のひとつ。松末小学校は、最上階に避難した子供達や地域住民の命を守った。開校144年の松末小学校、久喜宮小学校、志波小学校は各地域の精神的支柱であったが、2018年に杷木小学校に統廃合された。



旧朝倉市立松末小学校



2018年4月、知足美加子准教授が松末地区に植樹したヤマザクラ

大きな被害をもたらした九州北部豪雨から1年。
実際に現地へと足を運ぶと、メディアの画面越しでは
分からないことを、たくさん発見し、肌で感じます。
現場を見て、地元の方々の声を聞くフィールドワーク。
一緒に出掛けてみませんか？

道の駅 三連水車の里あさくら

自家用車または西鉄バス利用
の方の集合・解散場所

災害流木集積所



2017年の24時間1000ミリの豪雨は大規模な山林崩壊をもたらし、約21万トンの流木が生じた。現在その殆どはバイオマス化している。

杉岡製材所

杉に精通する現代の木挽・杉岡世邦（九州大学博士後期課程在籍）が運営している。板倉構法による熊本震災支援を行う中、松末地区に所有する森が甚大な被害を受け、流木をレスキューする活動を行う。



申込方法（応募者多数の場合は選考となる場合があります）

下記の項目を記載のうえ、メール・FAXのいずれかよりお申し込みください。またソーシャルアトラボ公式ホームページ内「CONTACT」からもお申し込みいただけます。

- ①お名前（フリガナ） ②お電話番号 ③メールアドレス ④ご住所
- ⑤ご所属（あれば） ⑥受講の動機（簡単にでも結構です）
- ⑦集合場所の希望（A西鉄筑紫駅西口、B道の駅 三連水車の里あさくら）

申込締切

2018年6月24日（日）必着 25日（月）に選考結果を通知します

集合・解散場所

自家用車または西鉄バスご利用の方：道の駅「三連水車の里あさくら」（朝倉市山田2192-1）

朝8時から営業。大分自動車道 朝倉ICから約5分。国道386号線沿い。

※西鉄バス：JR二日市駅から行き先番号40番、41番のバスに乗り、「三連水車の里」バス停にて下車

西鉄電車ご利用の方：西鉄天神大牟田線「西鉄筑紫駅」西口
急行電車が停まります。

西鉄福岡（天神）から約30分。西鉄久留米から約20分。

当日の雨量により、現地に避難勧告、避難指示が発令された場合は、訪問場所の変更または行事の中止を判断する場合があります。緊急連絡体制については、受講決定者に改めてお知らせします。

お申込・お問合わせ先

九州大学ソーシャルアトラボ TEL & FAX: 092-553-4552
E-mail: sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp
URL: <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>
Facebook: 「ソーシャルアトラボ」で検索

【コーディネーター】

知足美加子（とmotari みかこ）

九州大学大学院芸術工学研究院准教授

専門は彫刻。九州北部豪雨の発生直後から被災地を訪れ、支援活動に携わっている。

▶黒川復興ガーデンプロジェクト：

<http://www.design.kyushu-u.ac.jp/~tomotari/gaerden.pdf>

九州大学ソーシャルアトラボ

九州大学ソーシャルアトラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、新しい生の価値を提示していくことを目的としています。平成30年からは、「アートと社会包摂」をテーマとして研究・教育・実践・提言に取り組んでいます。

▶ウェブサイト：<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>



《朝倉龍》
樹齢132年の樟の災害流木による彫刻（知足美加子作）。統廃合された小学校の144年の時間を刻むものとして、7月5日に杷木小学校に寄贈予定。

関連講座 実践講座「黒川復興ガーデンとバイオアート 受講者募集！ 一英彦山修験道と禅に習う」本編ワークショップ

10月7日（日）、8日（月、祝日）および10月26日（金）に実施する本編ワークショップ（いずれも会場＝共星の里）にも引き続き参加いただくことを推奨します。 ※後日に改めて募集します。

内容（予定）

10/7・8 ◎共星の里主催シンポジウム・ワークショップに参加

◎栞野俊明氏（禅僧、多摩美術大学教授）講演
「禅の庭に関する根本的概念」

10/26 ◎受講者による、造園にむけてのワークショップ：アイディアスケッチ、討論 作庭ワークショップファシリテーター：洲上良仙氏（朝倉市円清寺住職）